

・復活後第五主日

泉のほとり

今日の詩編「第二十三編」

主は羊飼ひ、

わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを青草の原に休ませ

憩いの水のほとりに伴ひ

魂を生き返らせてくださる。



主イエスの友となって

主イエスを信じることは、主イエスのお言葉に従って生きることです。主は、教える言葉や勧めの言葉、宣べ伝える言葉など、いろいろな言葉を語られます。その中でも大事なものは、命令の言葉です。これには聞き従わなければなりません。

今日の箇所では「わたしがあなただけを愛したように、あなたがたも愛し合いなさい」と言われ、これがわたしの掟だと言われました。掟を守らなければ、主イエスの弟子にはなれません。その掟は、互いに愛し合うことです。皆さんは、今隣に座っている人を愛しているでしょうか。

愛するという言葉について、注意しなければなりません。日本語では「愛する」は「好きだ」の意味ですが、聖書では「愛する」とは、相手のためになることをすることです。ですから「敵を愛しなさい」とは、敵であっても親切にし、困っていたら助けてあげなさいという意味です。

その時主は「わたしがあなただけを愛したように」と付け加えられました。主は、わたしたちを罪の支配から救い出すために、命を捨ててくださいました。それが主の愛です。愛するとは、必要があれば相手のために命を捨てることです。だから主は続けて「友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない」と言われたのです。

現実に友のために命を捨てることは希なことかも知れません。しかし、自分の教会の教会員と心が通じなくて困っていたある牧師が、参加したセミナーの講師にそのことを相談したところ「あなたは教会員のために死ぬ覚悟があるか」と問われたそうです。その覚悟があれば、言葉は通じるはずだということです。これは夫婦の間でも、親子の間でもそうです。命までは捨てないまでも、人を愛するためには、何かを捨てなければなりません。隣の人に親切にするために、面倒だなどという思いや、これまでのいきさつを捨てる必要があるかも知れません。何一つ犠牲を払わないで人を愛することはできないのです。

わたしたちがそのようにするのは、主イエスがわたしたちを友と呼んでくださるからです。誰でも、僕には指示や命令をするだけですが、友にはすべてのことを話します。わたしたちは主イエスの友として主が父なる神さまからお聞きになったことを、すべて知ることが許されているのです。そのような特別な立場に、どうしてわたしたちが立つことになったのでしょうか。それは主がわたしたちを選んでくださったからです。それだけではなく、わたしたちを、人を愛する者として、任命してくださったのです。主イエスに選ばれて、主の友となり、任命されて、お互いを愛する者にしていただいているのが、わたしたちなのです。

(ヨハネ一五・一、一七)

未解決の争い

あなたも知っているように、アジア州の人々はみな、わたしに背を向けました。その中にはフィゲロとヘルモゲネスがいます。

テモチへの手紙2 一章一五節

ご覧ください

倒れて地に横たわる人たちを。

ご覧ください

宗教を個人所有にした者たちを。

使徒たち、預言者たちを

彼らはもう必要としないのです。

ご覧ください

自分勝手な者たちを。

何と冷酷なことでしょう。

ご覧ください

あなたの切り刻まれた体を。

それをつなぎ合わせてください。

それを高めてください。

わたしたちを

使徒たち、預言者たちと一つにして

わたしたちを高めてください。

かつて私の働きによって生じ、しばし世話を

した群れの分断は、私の心が引き裂かれるか

と思われるほどに、私の心を暗くする。

カルヴァン

R・ポレン著 「祈る」より

楠原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○第一礼拝後、ロビーでのコーヒーサービス、園舎二階のリズム室での「ぶどうの会」、また、

○時三五分から園舎一階のコスモスの部屋で讃美と祈りの会が行われます。それぞれ覚えてご参加下さい。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○湘南基督教墓苑組合の総会が、今日の午後三時から日本基督教団二宮教会で行われます。古村牧師と山名弘史役員が出席します。

○三一日(金)午後六時から学生の説教塾が東京神学大学で行われ、古村牧師が講師として奉仕します。

○紫園香音楽伝道師は、六月一日(土)高島平キリスト教会のコンサートで奉仕します。

○六月・七日(月)午後一時から、説教塾主催の公開講演会が礼拝堂で行われます。新改訳聖書二〇・七と、協会共同訳聖書の翻訳者に、それぞれの聖書の特色について話を聞きます。参加希望者は、牧師までお申し出ください。

○八月一日から五日まで行われる姉妹教会のコイノニアキャンプのために、献金をお願いします。事務所のカウンターに献金袋が置いてあります。

第一礼拝 讃21 57番

ガリラヤのかぜかおるおかで - ひと
びとにはなされためぐみのみこと
ばを、わたしにもきかせてください。

(♩=84)

- | | |
|---|---|
| <p>1 ガリラヤの風かおる丘で ひとびとに話された 恵みのみことばを、 わたしにも聞かせてください。</p> | <p>3 ゴルゴタの十字架の上で つみびとを招かれた すくいのみことばを、 わたしにも聞かせてください。</p> |
| <p>2 あらしの目波たける湖で 弟子たちにさとされた ちからのみことばを、 わたしにも聞かせてください。</p> | <p>4 夕ぐれのエマオへの道で 弟子たちに告げられた いのちのみことばを、 わたしにも聞かせてください。</p> |

アーメン。

聖書の会

5月29日(水)

● 朝の聖書の会(10時)

「花婿と一緒にいるのに」

マルコ2章18節〜22節

菊池 美穂子 副牧師

● 聖書の夕べ(19時)

「もつと悪いことが」

ヨハネ5章1節〜18節

黄 允湜 副牧師

次週礼拝

● 第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 讃21 127番 讃21 409番

説教「すべて守るように」

聖書 マタイ28章16〜20節

説教者 黄允湜 副牧師

● 第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 158番 502番

詩篇 108篇

説教「死は運命ではない」

聖書 ローマ5章12〜14節

説教者 古村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 22番

讃21 57番

説教 「お言葉をください」

聖書 ルカ7章1節～10節(新約 P114)

司式 宮間 彰広 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲「前奏曲」 J.S.バッハ

○讃美歌 22番

1. めさめよ、わがたま あさ日^あにともない
あしたのほめうた みまえにささげよ
2. むなしくすごしし ときをばつぐのい
ちからのかぎりに みわざをつとめよ
3. うえよりたまわる たからをもちいて
おわりのさばきに かしこみそなえよ
4. かくるるものをも 主^はは知りたまえば
ことばとおもいを ひたすらきよめよ
5. めさめよ、わがたま この日^もひねもす
みくにをのぞみて いそしみはげめや

アーメン

○ピアノによる讃美

「山べにむかいて」 J.K.ホーン

○讃21 57番

1. ガリラヤの風^かおる丘^かでひとびとに語^はされた
意^いみのみことばを わたしにも聞^きかせてください
2. あらしの白^は渡^はたける湖^うで弟子^したちにさとされた
ちからのみことばを わたしにも聞^きかせてください
3. ゴルゴタの十字架^じの^こで つみびとを招^まかれた
すくいのみことばを わたしにも聞^きかせてください
4. 夕^ゆぐれのエマオへの道^{みち}で弟子^したちに告^つげられた
いのちのみことばを わたしにも聞^きかせてください

アーメン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 154番 346番

詩篇 第23編(旧約 P854)

説教 「罪人のために命を捨てて」

聖書 ローマ5章6節～11節(新約 P279)

司式 宮間 彰広 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「トッカータとフーガ ヘ長調」 D.ブクステフーデ

○讃美歌 154番

○バリトンによる讃美

「静けき河の岸辺を」 讃美歌520番より

○聖歌隊による讃美

「主は勝たれた」 B.L.リチ

何も起きないように 敵は勝ち誇るように

闇暗く見える今 彼は死に勝たれた

悲しみに立ち尽くし 助けは望めないように

闇深く 見える今 彼は死に勝たれた 勝たれた

灰より再び 燃え出る火のように

魅りの力もて 主は我らをも立たせたもう

祈りは聞かれないように

望みは空しいように 見える時にこそ

主は御顔を示して 勝利を得させたもう

○讃美歌 346番

聖餐曲「アンダンテ」 C.M.グイドーニ

後奏曲「アレグロ」 A.グイダッティ

聖餐曲「アルマンド」 J.S.バッハ

後奏曲「アレグロ」 A.グイダッティ

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。